

七尾市 議会 だより

2025年11月

83号

目次

- 2 …… 9月会議の概要
- 3 …… 各委員会・分科会の審査結果
- 4～9 …… 一般質問（12名）
- 10 …… 令和7年度行政視察報告
- 11 …… 採決結果一覧
- 12 …… 集合写真、議会の動き など



<小丸山復興公営住宅建設工事安全祈願祭>

旧小丸山市営住宅跡地に建設される復興公営住宅の建設工事安全祈願祭が10月3日に行われた。復興公営住宅は、その名の通り「復興のシンボル」たりうるものであり、被災された方々のみならず市民全体の希望の光となりうるものである。早期の完成を期待したい。

(関連質問：山花剛議員 江曾ゆかり議員 木下美也子議員 徳田正則議員 永崎陽議員 和田内和美議員 木下敬夫議員 佐藤喜典議員)

9 月 議 案 の 概 要

令和7年度七尾市議会定例会9月会議は、9月2日(火)から9月18日(木)までの17日間の会期で行われました。

今会議では、12名の議員が市政一般について質問を行いました。

初日において8月第2回会議に市長から提出された議案6件、報告2件について、8月の審査の結果、議案6件は認定又は可決されました。(報告2件は議決不要)

9月会議において、議案17件、報告7件が市長より提出され、審査の結果、全ての議案は可決されました。(報告7件は議決不要)なお、請願1件については、不採択となりました。

最終日の9月18日には、同意案1件、議会議案3件が提出され、同意案および議会議案2件は可決されました。(議会提出の議会議案1件は否決。)

議案第31号 令和7年度七尾市一般会計補正予算(第6号) 総額24億1,050万8千円を可決!

今回の補正予算は、和倉温泉復興イベントに対する支援を行い、復旧・復興していく和倉温泉を市内外に向けて発信するとともに、人の流れを呼び戻し、にぎわいの創出を図る。また、公共施設、道路、河川などの災害復旧費を増額し、事業の円滑な進捗を図っていく。地域産業の再生・復興の取組みとして、被災した漁港施設の再建に向け、仮設の荷捌き施設や事務所の整備を行う。さらに、合宿誘致の拠点となる能登島グラウンドやその他の観光施設については、老朽化した設備や備品の更新を行うほか、施設内や周辺道路の支障木を伐採し、交流人口の拡大に向けた環境の整備を進める。

主な事業の内容

【議案第31号】

令和7年度七尾市一般会計補正予算(第6号)

災害復旧・復興事業

- 新** 和倉温泉復興支援事業費……………500万円
和倉温泉創造的復興プランの実現に向けた取り組みに対する支援
内容：能登和倉よさこい祭り×復興ドローンショー、復興かきフェスティバル
- 新** 子どもふれあい体験事業費……………300万円
子どもたちとその保護者等が笑顔で過ごせる機会を提供する復興イベントに対する支援
内容：ステージパフォーマンス、体験コーナー、リラクックスコーナー等
- 過年発生河川等災害復旧事業費……6億6,436.7万円
道路や河川の復旧に向けた測量業務委託等、工事請負費
- 過年発生その他公共施設災害復旧事業費
……………1億8,762.4万円
七尾フラワーパーク、コミュニティセンター等の災害復旧工事

被災者等支援事業

- 仮設水産施設整備事業費……………1億1,900万円
被災した漁港施設の仮設荷捌き施設及び仮設事務所の整備
- 被災宅地等復旧支援事業費……………2億9,346.8万円
宅地復旧等に対する補助金の増額
- 浄化槽等災害復旧支援事業費……………5億6,000万円
被災した個人設置型浄化槽等の修理に対する補助金の増額

その他

- 新** トキ生息環境整備事業費……………600万円
トキの生息環境に配慮した米づくりに取り組む農業者等に対する支援
- 中島観光施設管理運営費……………1,080万円
なかじま猿田彦温泉いやしの湯の営業再開に係る指定管理料

8月 第2回会議

令和7年度市議会定例会8月第2回会議において、議会議案第3号「令和6年能登半島地震における七尾市の公費解体事業に関する意見書」が提出され、全会一致で原案のとおり可決されました。可決された議会議案3号については、石川県へ提出いたしました。

【提案理由説明】

本市における公費解体の解体率は、7月末時点で約6割に留まっています。8月末の申請期限が迫る中で駆け込み申請も見込まれるため、目標である10月末解体完了が困難な状況であることから、本市の実情を踏まえ、制度の柔軟な運用が必要であります。また、令和8年度以降も引き続き公費解体事業を継続して推進できるよう、国を通じた予算確保など、万全な財政支援措置も必要であり、石川県による一層の取組と支援が不可欠であります。

これらの事からも、被災者の支援及び被災家屋の復旧に万全を期すため、適切な措置を講ずるよう石川県に対して強く要望するものであります。

各常任委員会に付託を受けた議案および予算決算常任委員会各分科会に分担された議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

総務企画

分科会(予算決算常任委員会)
常任委員会

◆委員長／木下美也子 ◆副委員長／高橋正浩
◆委員／西川英伸、山崎智之、永崎陽

主な審議内容

【議案第47号】

財産の取得について

◆水循環型屋外シャワーキット及び水循環型手洗いスタンドについて

- ④循環型機器を配備する際に、実習を行う考えはあるか。
- ⑤納入時に、市職員と導入される場所の職員に取り扱いの説明を行う予定である。5年間の保守点検も含まれているので、取り扱い説明については継続的に行っていきたい。

9月会議

【8月会議】

委員会付託 ・議案 2 件
分科会分担 ・なし

【9月会議】

委員会付託 ・議案 3 件
分科会分担 ・議案 1 件

【8月第2回会議】

委員会付託 ・なし
分科会分担 ・議案 1 件

- ④避難所で使用した経験上、フィルタ交換が非常に複雑であり、緊急時に確実に使用できるよう平時からの操作確認も必要と考えるが見解を伺う。
- ⑤緊急時に確実に使用できるようにするため、平時からの操作確認や訓練は重要であると認識している。今後、地区の防災訓練など、コミュニティセンターに配備しているものに関しては定期的な・確認や訓練について検討していきたい。

教育民生

分科会(予算決算常任委員会)
常任委員会

◆委員長／江曾ゆかり ◆副委員長／原田一則
◆委員／和田内和美、山添和良、木下敬夫、中西庸介

主な審議内容

【議案第31号】

令和7年度七尾市一般会計補正予算(第6号)

◆能登島生涯学習総合センターについて

- ④工事完了が遅れるとのことだが、アリーナの完了予定は。
- ⑤災害復旧工事を進める中で、屋根や天井の骨組みを補強する鉄骨の部材が変形しているなどの新たな破損箇所が発見され、追加工が必要となった。令和7年11月末に完成予定である。

9月会議

【8月第2回会議】

委員会付託 ・なし
分科会分担 ・議案 3 件

【9月会議】

委員会付託 ・議案 1 件
・請願 1 件
分科会分担 ・議案 5 件

【請願第1号】

能登半島地震被災者の医療費の一部負担金免除の再開のための財政支援を求める「意見書」の提出を求める請願

- ④被保険者が減っている中、免除を再開すれば、来年度以降の国民健康保険税の引き上げに影響が出てくるのか。
- ⑤国民健康保険税の引き上げを抑えるべく、基金を繰入れし据え置いていたが、基金はすでに枯渇状態であり、今後、国民健康保険税の引き上げを検討しなくてはならない状況である。免除を再開すれば、国民健康保険税のさらなる引き上げの要因となる。また、半壊未満となった約7割にあたる一部損壊・準半壊の被保険者との不公平感は大きい。

産業建設

分科会(予算決算常任委員会)
常任委員会

◆委員長／佐藤喜典 ◆副委員長／瀬戸三代
◆委員／山花剛、徳田正則、垣内武司、今田勇雄

主な審議内容

【議案第31号】

令和7年度七尾市一般会計補正予算(第6号)

◆能登和倉国際女子オープンテニス開催事業費について

- ④機運醸成のための事業等に対する支援は、どのような事業をやるのか。
- ⑤ホームページの開設や広報活動、レッスン会の開催、著名人によるPRなどが中心。ホームページ以外にも、参加団体との連携や実績報告を兼ねた冊子の作成など、多様な広報活動も行い、幅広い層への情報発信に努める予定。

9月会議

【8月会議】

委員会付託 ・議案 2 件
分科会分担 ・なし

【9月会議】

委員会付託 ・議案 6 件
分科会分担 ・議案 3 件

【8月第2回会議】

委員会付託 ・なし
分科会分担 ・議案 4 件

◆和倉温泉活性化等支援事業について

- ④支援額の内訳と、当初予算に盛り込まれなかった理由は。
- ⑤500万円は、まちづくり推進協議会に一括補助されるが、予算上は能登よさこい祭り・復興ドローンショーと復興牡蠣フェスティバルにそれぞれ250万円ずつ支援する予定。今年度は和倉の推進協議会が新たなプロジェクトとして計画し、6月に具体的な活動内容が示されたため、今回の補正予算で対応。また、能登和倉万葉の里マラソン大会の中止を受けて、代替イベントとしてランニング教室なども検討されており、和倉温泉創造的復興プランの一環としての支援としたい。

一般質問



山花 剛 議員
(無会派)



■ なかじま猿田彦温泉いやしの湯の再開について

いやしの湯の指定管理者選定・再開時期・赤字解消策を問う。

質

震災から1年9か月が経過し、いやしの湯の湯の再開のめどが立つたと伺った。そこで、次の3点を伺う。

① 指定管理者の応募は何社あったのか。また、応募者の地元と県外の割合についても伺う。

② 選定はどのような基準で行ったのか。また、その結果、選ばれた候補者が地元か県外かについても伺う。

③ 再開時期はいつ頃か、具体的に教えてほしい。

答

6月の公募で3社が応募し、うち2社が地元、1社が県外である。七尾市の条例に基づき、5名による選定委員会を7月に開催し、事業計画や運営方法などの提案を受け、最も評価の高い申請者を指定管理者の候補者としている。選定されたのは県外の事業者であり、組織規模が大きく、提案内容も赤字解消策を含めて高い評価がされて選定している。

再開時期については、9月議会で上程している指定管理料と指定管理者の指定が可決されれば、指定管理者と協議のうえ、11月の早い段階で再開を目指したいと考えている。

一般質問



江曾 ゆかり 議員
(無会派)



■ 復興公営住宅における入居要件等の取組について

被災者の心に寄り添った支援を！

質

① 復興公営住宅の入居要件の中で、市税などの滞納がないことが求められている。このままでは、やむを得ず滞納している被災者が住まいの確保や生活再建の機会を失う恐れがある。誰も進んで滞納世帯になったわけではなく、様々な事情があるはずであり、納税相談や分割納付など条件に、柔軟な選択肢が必要ではないか。

② 仮設住宅ではペット飼育が認められているのに、復興公営住宅では一律に禁止されている。ペットは被災者にとって心の健康維持や孤立防止に重要な存在であり、東日本大震災で被災した女川町や熊本地震で被災した大津町では、ペット共生の仕組みも導入されている。本市でも同様の取組ができないか伺う。

答

① 既設の市営住宅と同様に、市税滞納者の入居は公平性の観点から認めていない。しかし、生活再建支援も重要と認識しており、入居申込み時に滞納者から相談があれば、滞納の経緯や生活状況を丁寧に聞き取り、必要に応じて生活支援や相談支援につなげるなど、個別事情に寄り添っていききたい。

② 復興公営住宅は共同生活の場であり、騒音やアレルギーなど他の入居者の安心・安全を守る必要があるため、ペット飼育は禁止している。ただし、申込調査で意見があれば、ペットの種類や飼育状況を聞き取りし、ニーズが一定程度見込まれる場合はペット専用住宅やモバイルハウス等を利用した整備も検討する。

一般質問

■能登の農業について



瀬戸 三代 議員
(無会派)



食料安全保障と地域活性化を目指す有機農業の推進を！

質

我が国の食料自給率は38%と低く、食料安全保障の観点から食料問題は極めて重要な課題である。能登ではトキの放鳥が予定されており、環境に優しい農業が求められている。農薬や化学物質による健康被害も懸念される中、子供たちに安全・安心な給食を提供し、地域活性化を図るため、有機農業の推進が必要と考える。そこで、①国が掲げる「みどりの食料システム戦略」の内容、②オーガニック・ビレッジ宣言の意義、③有機農産物の販路拡大に向けた市の支援策と、価格差を税金で補填する考えについて、市の見解を伺う。

答

「みどりの食料システム戦略」は、環境に配慮した持続可能な農業を推進する国の方針で、農薬・化学肥料の削減や有機農業の拡大を目指すものである。オーガニック・ビレッジ宣言は、農業者・事業者・地域住民を巻き込んだ地域ぐるみの取組を進めることを目的として自治体が宣言するものである。市では令和9年以降のトキ放鳥に向けて餌場となる農地を拡大するため、化学肥料などを5割以上削減したトキ生息環境整備事業を県と連携して進めている。トキ生息環境整備事業の区域で栽培された特別栽培米は、認知度を高めるためのPRや食育のために学校給食に提供しており、通常のお米価格との差額を県と市で補填している。今後も消費者の理解を深め、有機農業への機運を高めていけるよう、国・県・JAと連携しながら周知に努めていきたいと考えている。

一般質問

■部活動の地域移行について



木下 美也子 議員
(無会派)



指導者不足解消に向け、段階的かつ柔軟な制度設計を！

質

①教員が部活動地域展開後も指導を希望する場合、兼業許可申請が必要であるが、許可者は誰になり、許可基準は統一されているのか伺う。

②来年度から土日の部活動を行わない方針と聞いたが、まだ指導者の受け皿も十分とは言えない中で、子供たちの活動の幅だけが狭められていくことになるが、教育委員会の考えを伺う。

③文部科学省が、学校の授業や部活動の指導者として社員を派遣する民間企業に対し、法人税の減税を行う税制改正要望に盛り込むとの報道があったが、指導者確保に向けた選択肢を増やす意味でも、実現に向けて取り組む考えはないか伺う。

答

①教職員の兼業許可は教育委員会が行い、許可基準は統一している。

②少子化の進行により、存続が困難な部活動がすでに出てきている現状を踏まえ、教育委員会では、教員の働き方改革の一環として、また地域クラブの練習日の確保のため、令和8年度から休日の部活動を停止し、地域クラブへの移行を進めていく。

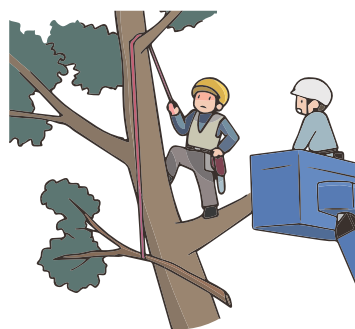
現在、市内では令和7年8月末時点で約30の地域クラブが受け入れ可能であることを確認している。教育委員会としては、部活動を取り巻く現状と今後の課題に向けて、関係者の理解と協力を得ながら、保護者主体のクラブを中心に、子どもたちの活動環境の整備に努めていきたい。

③新聞報道については、国の動向を見据えて対応していきたいと考えている。

一般質問



山添 和良 議員
(市民クラブ)



■支障木について

行政指導・行政代執行せよ！

質

道路上に枝が張りだしている支障木は、交通事故等の原因となったり、通行人が怪我をする可能性がある。道路法第43条および第44条に従って行政指導および行政代執行が可能であると思うが、いかがか。とくに、バス路線にある支障木は早急に対処すべきである。さらには雪が積もると支障木になる可能性が高いものもある。実態把握と対策の検討を行う必要があると思うが、いかがか。

答

民地からの支障木は本来、所有者が除去すべきであるが、所有者が不明または市外在住などで対応困難な事例がある。令和3年の民法改正により、緊急時や所有者が勧告に応じない場合には、市による支障木除去が可能となり、安全確保の観点から市が対応しているが、今後は状況に応じて必要な対策を検討していく。

市では市道パトロールを毎週実施しており、バス路線に限らず市内全域の支障木を把握・除去している。今後はバス路線を重点的にパトロールし、倒れそうな木や竹などを事前に除去するなど、交通安全対策を強化していく方針である。毎年同じ箇所が発生する支障木は把握しており、降雪前に現地確認・除去を行っている。予期せぬ箇所でも通行障害が発生するため、今後はパトロール時に上空の樹木や竹まで確認範囲を広げ、事前除去を進めていく考えである。

一般質問



高橋 正浩 議員
(無会派)



■公共交通の課題と、今後の取組みについて

質

七尾市の公共交通はJR・のと鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシーなど多様な手段があるが、利用者減少や運転手不足、車両コスト増などにより事業維持が困難になっている。市は公共交通計画を策定してきたが、現状の課題認識を伺う。また、自動運転バスの導入は不採択となったが、今後の見通しやグリーンスローモビリティなど新しい交通手段の検討状況も伺いたい。

さらに、能登島交通や恵寿総合病院によるデマンド交通の実証が進む中、市の関与が薄かった点を踏まえ、予算化されたオンデマンド交通導入可能性検討事業の狙いや実現への見通しについても伺う。

答

路線バス及びコミュニティバスについては、全国的にも運転手不足から廃線となるものが増えており、当市においても現在の路線を今後も維持していくことが困難になっていくのではないかと考えている。このような公共交通が直面している課題を踏まえ、交通体系を複合的に見直すべきと考えており、地域や利用者、交通事業者ともしっかりと検討していきたいと考えている。

自動運転バスについては、全国各地で実証運行が行われているが、事故などの報告がされており、現在のところ、課題も多いのではないかと考えている。低速で走行する電動車であるグリーンスローモビリティの実証の予定は、今のところはないが、導入については、考えていかななくてはならないと考えている。

今月から、コミュニティバスの便別の利用者状況を把握するとともに、交通事業者に対しても聞き取りを行うなど、調査結果や地域のニーズをもとに、令和8年度にはオンデマンド交通の実証運行を行いたいと考えている。市としては、持続可能な地域を維持する上で、交通政策については、今後、なお一層、力を入れていかななくてはならないと考えている。

一般質問

■公費解体について



徳田 正則 議員
(新政会)



申請困難事例への柔軟な運用と宣誓書の活用を！

質

七尾市の公費解体は約60%の進捗状況であり、今年中の完了は難しいと想定される。そうした中、半壊や全壊に認定されている建物であっても、相続関係や共有物件の同意書が取れないケースがあり、解体を望んでいるにもかかわらず申請できずに困っている方が多数存在している。こうした方々のためにも公費解体の延長を視野に入れ、申請困難なケースには宣誓書方式の導入を検討すべきと考えるが、見解を伺う。

答

当市の公費解体申請は、令和7年8月29日をもって終了し、公費解体の進捗状況については、令和7年8月31日現在、進捗率64.1%である。

8月の駆け込み申請を見据え、9月以降の解体班の増班を調整しており、今後も引き続き、全体の進捗を加速させていきたいと考えている。また、公費解体に間に合わなかった場合でも公的支援を受けられるよう、自費解体に係る償還申請の期限は令和8年1月30日まで延長している。

一方で、様々な事情を抱えている方がいらっしゃることも認識しており、そのような方々に対しては、引き続き申請書類の補正確認や手続きの進捗状況に応じた対応をしてまいりたい。

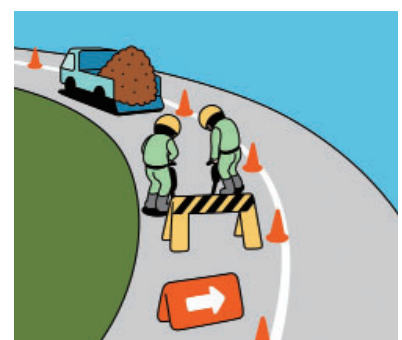
なお、宣誓書の活用については、すべてを画一的に対応するものではないと認識しており、申請者の状況に応じて柔軟に運用していきたいと考えている。

一般質問

■震災復旧・復興を伺う



永崎 陽 議員
(新政会)



伝統的行事の開催は地域の元氣と笑顔を取り戻す活力！

質

今年度の震災復旧・復興関連予算は過去に例を見ない規模で成立しており、一日でも早い復旧・復興の実現には、関連部署との連携のもと、事業執行を迅速に進めることが求められるが、現状を伺う。

また、能登半島地震による市道の被害では、マンホールの隆起や陥没が市民生活に支障をきたしており、伝統行事の開催にも影響が出ている。特に田鶴浜町の住吉大祭の曳山行事は中止となり、地域の誇りや心の復旧にも関わる問題である。市道の早期復旧を強く求めるとともに、市内全域の復旧状況と対応についても改めて伺う。

答

災害復旧工事の予算執行については、8月末時点で111件の入札を行い、107件が落札となっている。不調・不落の4件については、再入札や入札要件の見直しも検討している。今後そのような入札状況を見極め、適切に対応していきたいと考えている。

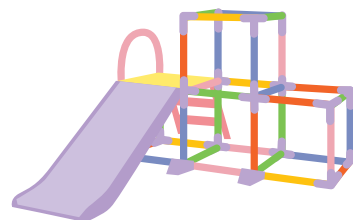
田鶴浜地区の市道については、多くの箇所で被災があり本復旧工事には時間がかかる見込みである。今後は、来年4月の住吉大祭の開催に向けて、マンホールの調整や段差の解消、舗装などの応急工事を進めて、年度内の完成に努めていきたい。

市道の復旧状況としては、国の災害復旧事業を活用する路線は、順次工事を発注しており、応急復旧を行う路線においても、七尾鹿島建設業協会を通して土木業者及び舗装業者に依頼し復旧を進めている。今後も、同協会や市内業者の協力を得ながら、復旧対応に努めていきたい。

一般質問

■子育て環境の充実について

七尾で子を育てたいと心から思えるまちづくりを！

和田内 和美 議員
(無会派)

質

屋内遊び場基本構想支援事業の進捗状況について伺う。子どもが安心して遊び、親子が交流できる場を求める声は高まっており、市民の期待も大きい。現時点での取組と今後の見通しを伺う。

創生ななおが実施したアンケートでは、9割以上が屋内遊び場の整備を望んでいる。これは市民の切実な願いであり、駅前の未来像を示すものである。市長はこの結果をどのように受け止め、施策にどう反映されるのか伺う。

答

屋内遊び場構想の進捗状況については、旧御祓中学校の体育館および武道館の建物調査を実施し、令和7年8月末に業務委託を完了した。その結果、クラック等の修繕に加え、土間下の復旧を行えば利用可能であると確認された。令和8年度に基本計画を開始すれば、令和11年度には屋内遊び場として活用可能との見通しである。

創生ななおではアンケート結果を踏まえ、子どもの遊び場をテナントとして誘致できないか、複数の事業者と交渉を行っている。駅前のにぎわい創出や中心市街地の活性化という観点からすると、パトリア内への子どもの遊び場の誘致は集客を図る手段の一つであるというふうに考えている。創生ななおには、テナント交渉により一層努めていただくとともに、パトリアを生かしたにぎわい創出に取り組んでいただきたいと考えている。

一般質問

■震災後の治安について

治安悪化を防げ！

木下 敬夫 議員
(無会派)

質

能登半島地震後、七尾市では損壊家屋や空き家などへの侵入・窃盗が増えており、治安の悪化が懸念されている。この状況を行政としてどのように把握しているのか伺う。

また、犯罪の増加と治安の悪化は、市民の復興に向けての妨げにしかならず、今後の治安悪化を防ぐために、どのような対策を取っていくのかを伺う。

答

震災後の治安状況については、石川県警が毎月取りまとめる刑法犯の認知件数や検挙件数をもとに、犯罪情勢などを把握している。必要に応じ、市内における個別ケースについても直接問い合わせるなどその把握に努めている。

今後の対策は、震災後の車両の往来増加を踏まえ、七尾警察署と連携して交通安全の推進とともに、不審車両や不審者への警戒を強化している。町会や地域づくり協議会と連携し、地域の見回り活動を促進することで防犯意識を高め、治安悪化の防止に努めていきたい。

各家庭や地域においても、戸締りの徹底や近隣での声かけを行っていただくとともに、不審な状況を見かけた際は、警察や市に対し速やかな情報提供をお願いしたい。

一般質問

佐藤 喜典 議員
(市民クラブ)

■和倉温泉スポーツ施設の復旧と未来

国際競技対応の可能性と復興シンボルとしての役割を問う！

質

和倉温泉創造的復興プランでは、屋内スポーツ拠点を整備することにより、和倉グラウンドやテニス場周辺を本市の代表的なスポーツ拠点と位置づけている。現在、サッカー・テニスコートの復旧は道半ばと聞いているが、国際競技が可能な施設として整備する考えがあるか伺う。

また、関係人口や交流人口の拡大には、合宿誘致だけでなく国際大会の開催も必要と考える。さらに、和倉温泉の復興を象徴する施設として整備する考えがあるか改めて伺う。

答

和倉のテニスコートは、国際大会開催に必要な規格を満たしており、既に国際大会が開催されている。サッカー場については、国際サッカー連盟が定めるスタジアム規定や各大会によって要件が非常に厳格に定められており、多額の整備費用が必要となるため、現時点では困難と考えている。まずは早期に施設を改修し、七尾市が再び合宿の聖地となるよう誘致活動を含めしっかりと取り組んでいきたい。

当然、和倉温泉の復旧においては、多くの方に来ていただくために様々なソフト面・ハード面について、創造的復興プランの中で検討しているところである。関係者と様々な提案を検討し、再開に向けてしっかりと取り組んでいきたい。

一般質問

西川 英伸 議員
(市民クラブ)

■被災者救済のための制度検証について

震災の教訓を活かした行政対応のあり方を問う！

質

今回の震災を教訓として罹災判定調査のどのような点を検証・改善していくか見解を伺う。

また、新築・改修に関しての支援、準半壊以下の支援に関して、市独自に設定した支援要件のハードルが高く、使いづらいとの声がある中で、どのように市民に説明しているのか伺う。

答

被害認定調査は、税務課のみで対応したため業務が集中し、証明書発行に最大で約3か月を要した事例があった。そのため、今後は他課との連携による業務分担など、体制の見直しが必要であると考えている。

さらに、罹災判定は内閣府の基準に基づくため、民間保険などの判定基準と必ずしも合致するものではないという点を事前に丁寧に説明し、理解を得ることが重要であると考えている。加えて、認定調査に係る研修を実施する中で、職員のスキル向上を図るとともに、調査が可能な人員の増加にも取り組んでいかなければならないと考えている。

再建・復旧支援事業の制度設計については、既存の生活再建支援金、住宅応急修理制度の支援額を超える部分を補うものである。制度内容の相談・申請は、パトリア4階の総合支援窓口やコールセンターなどで対応を行っており、広報やホームページなどを通じて周知している。今後も市民からの問い合わせに対して、理解が得られるよう、丁寧な説明を継続していく。

令和7年度 3常任委員会合同行政視察報告

令和7年5月30日、宮城県塩竈市を訪問し、災害公営住宅の現状について行政視察を行いました。これは、東日本大震災から14年を迎えた塩竈市において、復興後の地域づくりや住宅政策を学ぶことを目的としたものです。

当日は、鎌田礼二議長、佐藤光樹市長より温かくご歓迎いただき、貴重なご説明を賜りました。

視察の背景

七尾市議会は、平成23年の東日本大震災の際に塩竈市へ直接義援金を届け、支援を行いました。両市は港町としての歴史や水産業、自然景観など多くの共通点を持っています。

令和6年能登半島地震では、塩竈市から給水支援を受け、災害時の相互協力の大切さを改めて実感しました。



日時 5月30日(金)

9:30 ~ 11:00

内容：災害公営住宅について

場所：塩竈市役所 3階 委員会室

今回の行政視察は、復興という共通課題を持つ自治体同士の交流を深める貴重な機会となりました。

日時 5月30日(金)

13:50 ~ 14:50

内容：風化防止・伝承施設の視察

場所：塩竈市津波防災センター

<施設概要>

震災の記憶と経験を後世に伝えるための拠点として建てられた、宮城県内にある18施設の一つ。



令和7年度定例会8月会議 採決結果一覧表

■=全会一致 ■=賛成多数 ■=賛成少数

8月会議において、提案された議案等の結果は下記の通りです。なお、山崎議長は、採決には加わりません。

議 案 名		採決結果	議 案 名		採決結果
議案第21号	工事請負契約の締結について	可決	議案第23号	工事請負契約の締結について	可決
議案第22号	工事請負契約の締結について	可決	議案第24号	工事請負契約の締結について	可決
【議案第21号】			【議案第23号】		
工事名 令和7年度6災第11号市道能登島150号線災害復旧工事			工事名 令和7年度和倉消防署改築工事(建築)		
【議案第22号】			【議案第24号】		
工事名 令和7年度6災第12号市道能登島150号線災害復旧工事			工事名 令和7年度瀬浦分遣所改築工事(建築)		

令和7年度定例会8月第2回会議 採決結果一覧表

■=全会一致 ■=賛成多数 ■=賛成少数

8月第2回会議において、提案された議案等の結果は下記の通りです。なお、山崎議長は、採決には加わりません。

議 案 名		採決結果
議会議案第3号	令和6年能登半島地震における七尾市の公費解体事業に関する意見書	可決

令和7年度定例会9月会議 採決結果一覧表

■=全会一致 ■=賛成多数 ■=賛成少数

9月会議において、提案された議案等の結果は下記の通りです。なお、山崎議長は、採決には加わりません。

議 案 名		採決結果	議 案 名		採決結果
議案第25号	令和6年度七尾市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	議案第42号	工事請負契約の締結について	可決
議案第26号	令和6年度七尾市水道事業会計決算の認定について	認定	議案第43号	工事請負契約の締結について	可決
議案第27号	令和6年度七尾市下水道事業会計決算の認定について	認定	議案第44号	工事請負契約の締結について	可決
議案第28号	令和6年度七尾市病院事業会計決算の認定について	認定	議案第45号	工事請負契約の締結について	可決
議案第29号	令和6年度七尾市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	議案第46号	工事請負契約の締結について	可決
議案第30号	令和6年度七尾市病院事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	議案第47号	財産の取得について	可決
議案第31号	令和7年度七尾市一般会計補正予算(第6号)	可決			
議案第32号	令和7年度七尾市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	議 案 名		採決結果
議案第33号	令和7年度七尾市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)	可決	同意案第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について ■木崎 良隆 ■鳥木 隆 ■畠山 麻衣 ■大星 雅司 ■村井 充	同意
議案第34号	令和7年度七尾市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決			
議案第35号	令和7年度七尾市水道事業会計補正予算(第3号)	可決	議 会 議 案 名		採決結果
議案第36号	令和7年度七尾市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	議会議案第4号	地方財政の充実・強化に関する意見書	可決
議案第37号	令和7年度七尾市病院事業会計補正予算(第1号)	可決	議会議案第5号	少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書	可決
議案第38号	七尾市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	議会議案第6号	七尾市議会議員定数条例の一部を改正する条例について	否決
議案第39号	七尾市職員の育児休業等に関する条例及び七尾市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	可決	※議会議案第6号に賛成の議員は、和田内 和美議員、木下 美也子議員、山花 剛議員、高橋 正浩議員、永崎 陽議員、中西 庸介議員です。		
議案第40号	七尾市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例について	可決	請 願 名		採決結果
議案第41号	指定管理者の指定について	可決	請願第1号	能登半島地震被災者の医療費の一部負担金免除の再開のための財政支援を求める「意見書」の提出を求める請願	不採択

※請願第1号に賛成の議員は、瀬戸 三代議員です。

令和7年10月31日をもって第6期七尾市議会議員の任期が満了しました！



議員 17 名、茶谷市長、星野副市長、八崎教育長

議会の動き

7月	23日	能越自動車道・七尾港・和倉護岸合同要望活動（東京都・新潟県）	8月	22日	石川北部RDF広域処理組合議会定例会（志賀町）
	30日～31日	全国高速自動車道市議会協議会（高知県高知市）		26日	全員協議会
8月	1日	全員協議会			予算決算常任委員会協議会
		定例会8月会議			議員協議会
		議会改革特別委員会		27日～28日	全国市議会議長会研究フォーラム（北海道札幌市）
	4日	のと里山空港利用促進議員連盟要望活動（東京都）		29日	議会運営委員会
	8日	北陸新幹線建設促進石川県民会議総会（金沢市）	9月	2日～18日	定例会9月会議
	12日	議会運営委員会		9日	議会運営委員会
		議会改革特別委員会		11日	全員協議会
	18日	議会運営委員会			議会運営委員会
		全員協議会		18日	全員協議会
		予算決算常任委員会協議会			議会運営委員会
		定例会8月第2回会議			議員協議会
		議会改革特別委員会	10月	24日～29日	モントレイ市訪問
	19日	石川県市議会議長会定期総会（金沢市）		1日	七尾市自治功労者・産業功労者表彰式
	20日	議会改革特別委員会		3日	小丸山復興公営住宅安全祈願祭・起工式
		予算決算常任委員会3分科会（決算審査）		4日	七尾市社会福祉功労者等表彰式

編集後記

今任期4年間、議会だより編集委員会の副委員長として、議会だよりの作成に携われたことに感謝申し上げます。紙面を通して、開かれた議会を目指し、一人ひとりの議員が真剣に市政と向き合っている様子や、市民の皆様にわかりやすく議会活動をお届けするために編集委員一同、取り組んでまいりました。市民の皆様には今後とも七尾市政へのご理解とご協力をお願い申し上げますと共に、ご愛読いただき、誠にありがとうございました。

編集副委員長 和田内 和美

議会だより編集の参考にするためアンケートにご協力をお願いします

アンケートの所要時間は1分程度（3問）です。下のQRコードからアクセスできます。また、アンケートについては、個人情報等の入力はありませんので、気軽にアンケートへのご協力をお願いいたします。

